

令和7年度 学校関係者評価委員会結果

1 開催日時

令和8年3月11日（水） 13時30分から15時30分

2 委員

	氏 名	所 属
委員長	石川 仁	本校同窓会長
副委員長	菊池 孝幸	北上市老人福祉施設連絡会代表
委員	久保田 達夫	北上市健康こども部子育て支援課課長
委員	塚本 静男	黒沢尻西地区自治協議会会長
委員	武田 武	本校後援会長

（専修大学北上福祉教育専門学校出席者：学校長 六本木郁子、事務長 千葉一輝、保育科長 磯貝友絵
福祉介護科長 白澤宏明、教務部長 名古屋恒彦、入試広報部長 熊谷 賢、学生部長 富谷彩野）

3 議事報告

今年度の自己評価及び学校評価の結果を報告し、以下の意見や補足説明等が出された。

①教育理念・目標について

教育理念・目標、育成人材像について、学生便覧、ホームページ、パンフレット、募集要項等に明文化し、学生や保護者への周知を図っている。

今後も、教職員が教育理念等への理解を深め、ガイダンスや校務システム、Web 等を通じて、学生や保護者に分かりやすく伝えていきたい。

②学校運営について

校務システムを導入し、業者との連携を図りながら、機能の改善や運用の定着に取り組んでいる。

校務に関するデータ管理や情報共有の方法を整理するとともに、ホームページや SNS を活用した情報発信の一層の充実を図っていきたい。

委員から、校務システムの開発や運用方法について質問があり、外部業者に委託した本校独自のシステムであることを説明した。

③教育活動について

教育理念や育成人材像、業界のニーズを踏まえて教育課程を編成し、学生による授業評価や教員間の公開授業を実施している。

実践現場の職員をゲストティーチャーとして招くなど、実践的な授業に努めている。今後も、実習施設をはじめとする実践現場との連携を一層強化していきたい。

④学修成果

就職指導を個別にきめ細かく行うとともに、スクールカウンセラーと連携し、学生相談や退学防止に取り組んでいる。

委員から、スクールカウンセラーへの相談状況について質問があり、今年度は利用が多く、相談内容も多様で、継続して相談する学生もいることを説明した。

また、就職先の地域について質問があり、今年度は3名が関東圏に就職し、それ以外は県内に就職する予定であることを報告した。

⑤学生支援

後援会総会や研修会、保護者面談を実施し、保護者との連携に努めている。また、スクールカウンセラーや学校医などの外部専門家と連携し、学生の多様な相談に対応している。

同窓会総会を校内で開催し、卒業生が参加しやすい環境を整えるとともに、卒業生の動向把握や支援に努めている。

学校関係者評価の項目について、委員から、実習施設では保護者との連携状況を把握することが難しいため、回答者に応じた設問の見直しを検討してもよいのではないかと意見が出された。

⑥教育環境

グラウンドの整備、体育館の活用、コモンテラスの設置など、学生の学習・生活環境の整備を進めている。今後も、計画的な更新・整備を進めていきたい。

防災体制について、委員から避難訓練等の実施状況に関する質問があった。今後も、消火・通報・避難を含む総合訓練や安全対策の強化に努めたい。

海外研修については、旅行経費の高騰等により実施できなかったが、学生アンケートの結果等を踏まえ、引き続き実施に向けて検討していく。

⑦学生の受け入れ募集について

進学ガイダンスや高校訪問、ホームページ、SNS等を活用し、学生募集に取り組んでいる。また、Web出願を本格的に開始し、入試情報や入学前情報を校務システムで管理している。

委員から、Web出願の運用状況について質問があり、おおむね順調に運用されていること、コンビニエンスストアやクレジットカードによる支払いが可能となり、受験生の利便性が向上したことを説明した。

⑧財務

財務は法人本部において適正に管理・執行し、財務状況をホームページで公表している。

校務システムの活用や会議資料等のペーパーレス化を進め、経費の縮減と校務の効率化を図っていききたい。

⑨法令等の遵守

法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営に努めている。

学校評価については、自己評価と学校関係者評価の結果を自己評価委員会及び職員会議で検討し、外部委員による客観的な検証を受ける過程を継続していききたい。

校務システムにおける個人情報の保護や情報管理についても、業者と連携しながら、安全性の確保に努めていききたい。

⑩社会貢献・地域貢献について

高校生を対象とした出前講座や認知症サポーター養成講座、地域住民を対象とした介護予防教室などを実施している。また、学生のボランティア活動への参加も増加している。

委員から、北上市内で行われる地域活動やボランティアへの参加について、今後も学校に協力をお願いしたいとの意見が出された。

引き続き、学生が地域活動に参加できる機会の拡充を図るとともに、公開講座等を積極的に展開していききたい。

⑪国際交流について

日本語学校を対象とした学校見学会や進学ガイダンスを実施し、留学生の募集活動に取り組んでいる。また、北上市国際交流協会と連携し、留学生が地域住民と交流する機会を設けている。

今後、留学生の増加が見込まれることから、学習支援や生活支援の体制を一層充実させるとともに、地域住民の理解と協力を得ながら、地域との交流を進めていききたい。